

経済情勢座談会

田中 修

はじめに

4-6月期 GDP 公表を目前にして、李克強総理は7月9日に一部省（区）政府主要責任者経済情勢座談会を、10日に専門家・企業責任者経済情勢座談会を開催した。本稿では、この会議における李克強総理の発言を紹介する。

1. 一部省（区）政府主要責任者経済情勢座談会（7月9日）

座談会には、河北省長、内モンゴル自治区主席、遼寧省長、江蘇省長、河南省長、広東省長、四川省長、陝西省長が出席し、上半期の経済動向を報告するとともに、建議を行った。このほか、座談会には、張高麗副総理、劉延東副総理、馬凱副総理、楊晶国務委員・王勇国務委員が参加した。

会議における李克強総理の発言は、以下のとおりである。

今年に入り、とくに4-6月期以降、内外の複雑な情勢に対して、わが国の経済運営は鈍化の中で安定に向かっており、合理的区間にあり、多くの指標に反転上昇の勢いが出現し、経済発展の活力・動力が増強され、各方面の自信が有効にみなぎっているが、経済が安定に戻ろうとしている基礎をなお一層強固にする必要がある。とりわけ、世界経済の回復の変数が増大しており、各種の試練・リスクがわが国に及ぼす影響を軽視できない。経済を安定させ好転させるには、なお大きな努力を払わなければならない。

今年の経済社会発展の主要目標・任務を完成するには、安定により前進を促し、マクロ経済政策の連続性・安定性を維持し、内需拡大・構造最適化・持続力増強において新たな局面を打開することに力を入れなければならない。施策を柔軟にし、情勢に変化に対して精確に力を発揮し、区間コントロールの基礎の上に方向を定めたコントロールを強め、タイミングを見計らって事前調整・微調整を実施し、改革・イノベーションの中で新たなボーナス効果を発揮させなければならない。十分に力を集中し、人に後れをとることをよしとせず、政策の実施にしっかり取り組み、積極・主動的に行動することによる相乗効果を形成し、グレードアップ・発展促進の中に、より多くの新たな成果を得なければならない。

前進のうちには各種の試練・リスクがあるが、我々は油断することはなく、地域的・システム的なリスクの発生を防止し、経済運営を合理的区間に維持し、資本市場と短期金融市場の公開・透明で長期に安定した健全な発展を促進し、実体経済の発展のために良好な金融環境を提供し、中国経済の中高速成長の実現を推進し、ミドル・ハイエンド水準へと邁進させる能力と自信がある。

経済の安定化・好転を促進し強固にするには、構造的改革の推進によって構造調整を促すことに力を入れ、行政の簡素化・権限の委譲、開放と管理の結合、サービスの最適化を一層深化させることを堅持し、イノベーションによる駆動を実施し、大衆による起業・万人によるイノベーションという新たな牽引力を早急に作り上げ、民生優遇・不足の補充・実体の強化に焦点を合わせ、公共財・公共サービスの供給増加によって伝統的な牽引力のグレードアップを促進しなければならない。新たな需要を開拓し、新たな強みを大きくし、新たな機能を育成することを通じて、安定成長のための強大な合成力を形成しなければならない。

現在、地方経済の発展は分化傾向にある。改革の歩みが大きくなり、構造調整の歩みが速まるほど、主動権を勝ち取り、機先を制することができるのである。絶えず発展の手綱を引き締め、中央と地方両方の積極性を十分発揮し、地方が国家戦略とリンクし、各自の優位性を発揮し、競いながら進み活力を発揮するよう奨励する。

①改革開放というハードな技を、より多く繰り返し出さなければならない。

あえて人に先んじて、体制メカニズムを刷新し、政策の阻害ポイントを打開し、大衆による起業・万人によるイノベーションに資する良好な環境を作り上げる。

「シルクロード経済ベルト・21世紀海のシルクロード」と国際的な生産能力協力のチャンスをしっかり掴み、装置産業の海外進出を推進し、よりハイレベルの開放の中で産業のグレードアップを実現し、国際競争における新たな優位性を作り上げる。

②的確で強力な実際の技を、より多く繰り返し出さなければならない。

有効な投資を積極的に拡大し、とりわけ中西部地域において公共財・サービスの供給を増やさなければならない。

既定のプロジェクトは直ちに着工し、既存の資金は速やかに全部充当し、プロジェクトの準備を前倒しで計画しなければならない。

当面の成長を牽引するだけでなく、持続可能な発展を促進する。

③発展能力の向上という新たな技を、より多く繰り返し出さなければならない。

構造調整を積極的に推進し、「中国製造 2025」と「インターネット+」の行動を実施し、企業・大衆の需要を軸に、サービス業の水準を引き上げ、新たな製品・新たな技術・新たな業態・新たなモデルを発展させ、新旧の動力の早急な転換を促進することにより、下半期にわが国の経済発展と民生改善が引き続き好転の勢いを維持するよう努力する。

2. 専門家・企業責任者経済情勢座談会（7月10日）

座談会には、連平・劉元春・張軍・祝宝良等の専門家と企業の責任者が参加し、経済運営・マクロ政策・企業経営・イノベーション等をめぐり考えを述べた。出席者はみな、上半期、国家の政策効果が顕在化するに伴い、わが国経済に安定へと戻る傾向が出現し、積極要因が増加し、とりわけ大衆による起業・万人によるイノベーションが市場の多くの細胞を活性化させ、マクロの安定の支えを形成していると認識した。しかし、現在いくらかの企業の生産経営が困難になっており、少なからぬ現実の難題を解消する必要がある。李克強総理は出席者と深く交流した。このほか、座談会には、張高麗副総理、劉延東副総理、汪洋副総理、馬凱副総理、楊晶国務委員、王勇国務委員が参加した。

会議における李克強総理の発言は、以下のとおりである。

経済情勢を科学的に判断するには、現在の世界経済の回復に紆余曲折があり、不確実性が増大しており、その影響を高度に重視する必要があるのみならず、中国経済に産業構造の不断の最適化、発展動力の急速な転化、地域・業種の動向の分化という顕著な特徴が現われていることを見て取らねばならない。

長年累積した構造的矛盾が一層顕在化してはいるものの、経済が長期的に好転しているというファンダメンタルズに変化はなく、巨大な強靱性・潜在力・挽回の余地をなお備えている。

わが国経済の潜在成長率は中高速成長を支えることができるが、そのカギは発展ルールを遵守し、発展への自信を確固とし、発展の主動権を掌握し、より大きな努力・忍耐力を用いて推進しなければならないということである。

わが国の経済は、成長動力と下振れ圧力が併存しており、引き続き中央経済工作会議の精神に基づき、政府活動報告の手配を実施し、現在に立脚し、長期に着眼して、マクロ・コントロールの正確な方向を堅持し、積極的財政政策と穏健な金融政策を実施しなければならない。マクロ・コントロールの刷新と構造的改革を有機的に結びつけ、方向を定めたコントロールとタイミングを見計らったコントロールをより精確・有効に実施し、リスクを防止・解消し、経済運営を合理的区間に確保しなければならない。成長・物価・雇用・所得・環境保護という多重目標の協調的な発展を実現し、各種市場の健全で安定的な発展のために条件を創造しなければならない。

行政の簡素化・権限の委譲、開放と管理の結合、サービスの最適化を深く推進し、市場の決定的役割をさらに好く発揮させなければならない。伝統産業をグレードアップするための潜在力を深掘りすることに力を入れるとともに、新産業・新業態の発展を盛んにするための潜在力を積極的に発揮させなければならない。安定成長・構造調整のウイン・ウインを実現し、経済運営を長期に安定させることを実現するうえで、持続的に力を発揮しなければならない。

中国経済のグレードアップ・発展は、根本的に改革・イノベーションに依拠している。企業は市場の主体であるとともに、イノベーションの主体でもあり、引き続きイノベーション駆動による戦略を実施し、国家が打ち出した「中国製造 2025」、「インターネット+」、の行動と「シルクロード経済ベルト、21 世紀海のシルクロード」、国際的な生産能力協力の推進というチャンスをしっかり掴み、市場を志向し、需要に密着し、コアとなる競争力とブランド創造能力の向上に力を入れなければならない。

大衆による起業・万人によるイノベーションを大いに推進し、イノベーション型企業とりわけイノベーション型の小型・零細企業の発展を支援することにより、各種のイノベーション資源を企業に集約させ、より多くの金融商品・サービスをイノベーションの需要にリンクさせ、イノベーションという翼を用いて中国企業をさらなる高みに飛躍させなければならない。

今年は、中国経済社会の発展が将来へ引き継がれる重要な 1 年である。経済が引き続き安定の中で好転することを推進し、第 12 次 5 ヶ年計画の円満な手仕舞いを実現し、第 13 次 5 ヶ年計画スタートのために良好な基礎を打ち固めなければならない。

関係部門は専門家・企業が提起した意見・建議を真剣に検討しなければならないし、皆さんが多くの方策を出し、わが国経済の中高速成長を維持し、ミドル・ハイエンド水準へと邁進するよう、共同で努力し推進することを希望する。

(7月15日記)